



2025年1月31日

イオンタウン株式会社

## 「福島ひまわり里親プロジェクト」へ 収穫したひまわりの種を贈呈いたしました

イオンタウン株式会社（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長：加藤 久誠、以下：当社）は、「イオン ハートフル・ボランティア」の一環として、「NPO法人チームふくしま」が主宰する東日本大震災復興支援プロジェクト「福島ひまわり里親プロジェクト」へ参画しております。このプロジェクトは、復興のシンボルとして掲げているひまわりの花を全国各地で栽培し、その種を福島へ贈る活動です。

2015年より当社が参加しております同プロジェクトにおいては、従業員をはじめ、店舗近隣の幼稚園・保育園、授産施設の皆さま、地域の自治会の皆さまにも共感をいただき、ご参加いただきました。今年度は、約18.6kgのひまわりの種と2,165名の気持ちを、福島二本松でひまわりの種詰め作業を行っている障がい福祉施設「和（なごみ）」様と「NPO法人チームふくしま」様へ贈呈し、贈呈式を行いました。

イオンタウンはこれからも、地域・行政の皆さまとのつながりを大切にし、社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。

### 記

#### 【贈呈概要】

1. 日時 : 2025年1月30日（木）
2. 贈呈先 : NPO法人チームふくしま
3. 贈呈者 : イオンタウン株式会社、イオンタウンユニオン
4. ひまわりの種採取重量 : 18,595g
5. プロジェクト参加者総数 : 2,165名



贈呈式の様子

## ご参考

### ・福島ひまわり里親プロジェクトとは

NPO法人「チームふくしま」が展開している東日本大震災復興支援プロジェクト。全国の里親が育てたひまわりを福島県で復興のシンボルとして咲かせることによって、雇用・教育・観光につなげ、全国と福島の『絆』を深める取り組みです。  
ホームページ：<https://www.sunflower-fukushima.com/>

### ・イオン ハートフル・ボランティアについて

イオンは、2001年より毎月11日を「イオン・デー」と定め、イオンの全従業員が基本理念のもと、良き企業市民として地域への貢献活動を行う日としています。また、2011年から10年間の復興支援活動「イオン心をつなぐプロジェクト」の取り組みなど、多くの従業員ボランティア活動を継続しています。

「イオン・デー」20周年、そして東北復興支援から従業員が得た学びと知見を、全国の事業エリアで推進し、地域の社会課題を解決するため、新しい枠組みとして「イオン ハートフル・ボランティア」の取り組みを2022年度より開始いたしました。

当社では、「イオン ハートフル・ボランティア」の一環として、福島ひまわり里親プロジェクトに参画しており、2015年からの10年間で延べ約23,000人の参加により、約290kgの種をお送りいたしました。また、2024年11月には山口県防府市において、イオングループ各社従業員その他、地域住民・行政の皆さまとともに清掃活動を行いました。

以上